

2.9.2 特徴的な海岸漂着物の分析・測定

・6月から9月の西表・石垣島における漂着量

6品目の特徴的な海岸漂着物について、分析結果の概要を表2.9-13、令和2年6月から9月の60日あたりの海岸別の漂着個数を表2.9-16～18、図2.9-25～38に示す。

ペットボトルは生産国別にみると生産国不明なものが多く、飲料缶のうち生産国が判別出来たものは日本製のみであった。ビニール製バルーンはみられず、電球・蛍光灯は生産国不明なもののみであった。生産国の傾向はみられなかった。

また、漂着個数は星砂海岸と南風見田浜で多かったが、それぞれ北向きと南向きの海岸であり、海岸の向きによる傾向は見られなかった。このうち、星砂海岸ではペットボトル、南風見田浜では漁業用ブイが多く見られた。

表2.9-15 特徴的な海岸漂着物の分析結果概要（令和2年6月～9月の60日あたり）

特徴的な海岸漂着物	結果概要	図表番号
ペットボトル	<p>【容量等】 調査対象海岸全てで容量1000cc未満のものが多くを占めた。 1000cc未満のペットボトルのラベルの有無は、ラベル無の方の割合が多く見られた。 1000cc未満のペットボトルは、500cc前後の飲料用が最も多かった。</p> <p>【生産国】 全体で生産国不明の割合が最も高かった。 次点で中国製の割合が多かった。</p>	<p>図2.9-25</p> <p>図2.9-26</p> <p>図2.9-27、28</p>
飲料缶	西表島の南風見田浜で2個見つただけであった。 すべて日本製であった。	図2.9-29
ポリタンク	確認されなかった。	
漁業用ブイ	<p>【直径20cm未満】 全体で4個であった。 その中で南風見田浜で最も多くみられ、水色の小型ブイが最も多かった。</p> <p>【直径20cm以上】 全体で5個であった。 その中で南風見田浜で最も多くみられ、全体では黒色ブイが多かった。</p>	<p>図2.9-31</p> <p>図2.9-33</p>
ビニール製バルーン	確認されなかった。	図2.9-35
電球・蛍光灯	南風見田浜でのみ見られ、生産国不明の物が2個見られた。	図2.9-37

表 2. 9-16 特徴的な海岸漂着物の漂着個数（令和2年6月～9月の60日あたり）

単位：個/50m

素 材	種 類		西表・石垣島					
			北	北東	東	南	西	
			星砂海岸	高那	伊野田南	南風見 田浜	美田良浜	
プラスチック類	ペットボトル	1000cc 未満	ラベル有	3				2
			ラベル無	8	2	1		2
		1000cc 以上	ラベル有					
			ラベル無	1				
	漁業用ブイ	直径 20cm 未満	水色(大)					
			水色(小)		1		2	
			オレンジ				1	
			その他					
		直径 20cm 以上	黒色		2		1	
			赤・黄・橙色系				1	
			その他				1	
	ライター			2				1
	日本製の農業用の容器・袋類							
	日本製の飲食用の容器・袋類							1
	ポリタンク	韓国						
		その他						
		不明						
ビニール製バルーン	中国							
	台湾							
	その他・不明							
発泡スチロール類	日本製の飲食用の容器・袋類							
ガラス・陶磁器類	電球							
	電球(ラベル有)							
	蛍光灯					2		
	蛍光灯(ラベル有)							
金属類	飲料缶(日本製)					2		
	飲料缶(海外製)							
医療系廃棄物	バイアル							
	注射器・針							
	その他							

注)空欄は回収がないことを示す。

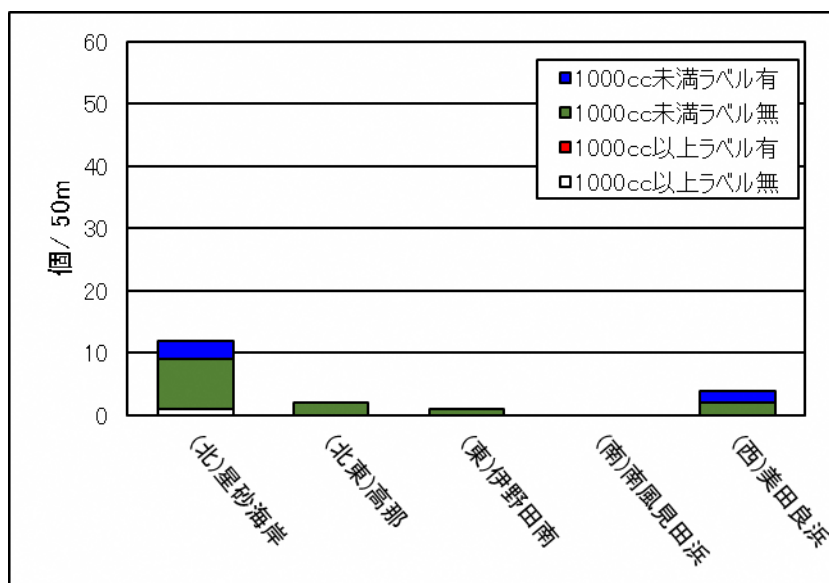


図 2.9-25 ペットボトルの容量及びラベルの有無別の漂着個数調査結果
(令和2年6月～令和2年9月の60日あたり)

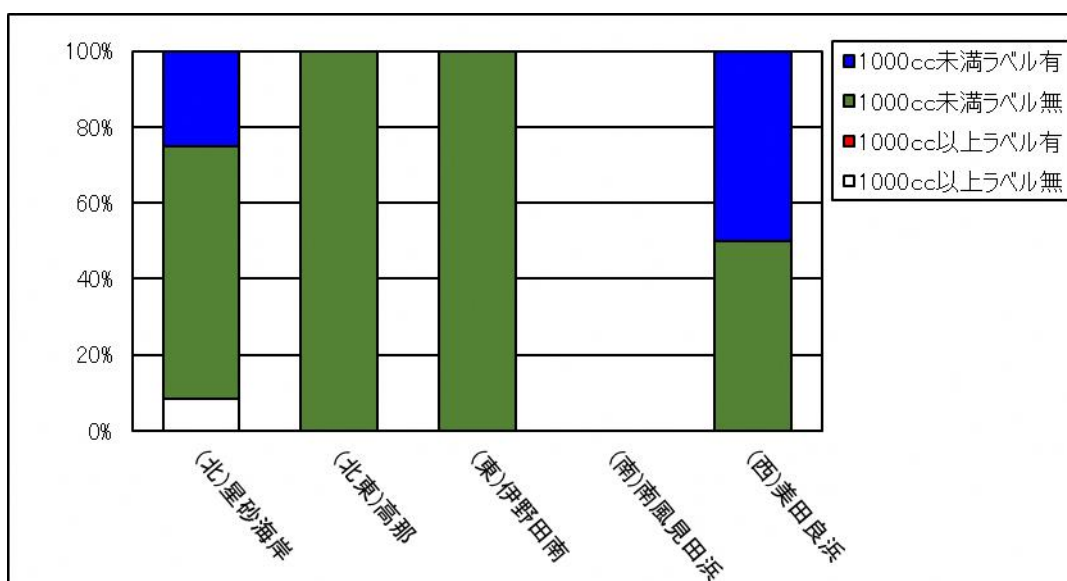


図 2.9-26 ペットボトルの容量及びラベルの有無別の漂着個数調査結果
(令和2年6月～令和2年9月の60日あたり)【割合】

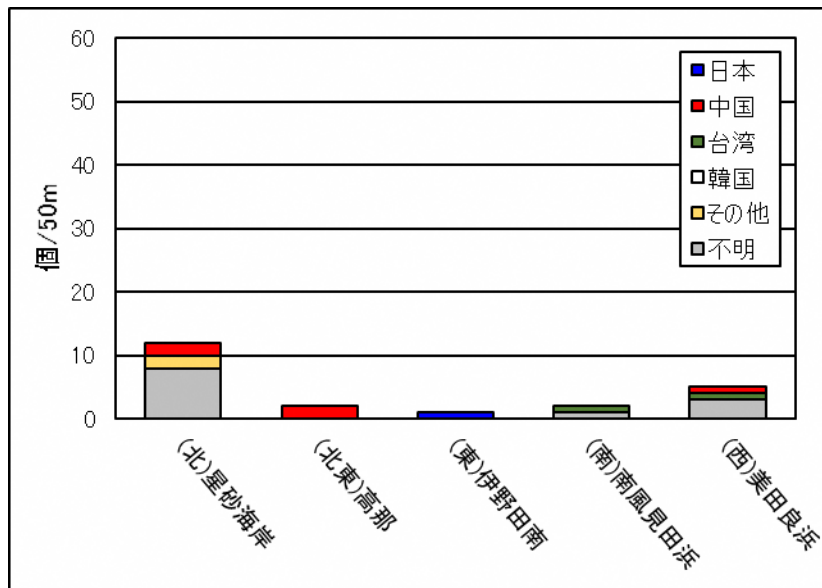
表 2.9-17 ペットボトルの生産国別の整理(令和2年6月～令和2年9月の60日あたり)

単位:個/50m

種類	生産国	西表島・石垣島				
		北	北東	東	南	西
		星砂海岸	高那	伊野田	南風見田浜	美田良浜
国名	日本			1		
	中国	2	2			1
	台湾				1	1
	韓国					
	その他	2				
	不明	8			1	3
合計		12	2	1	2	5

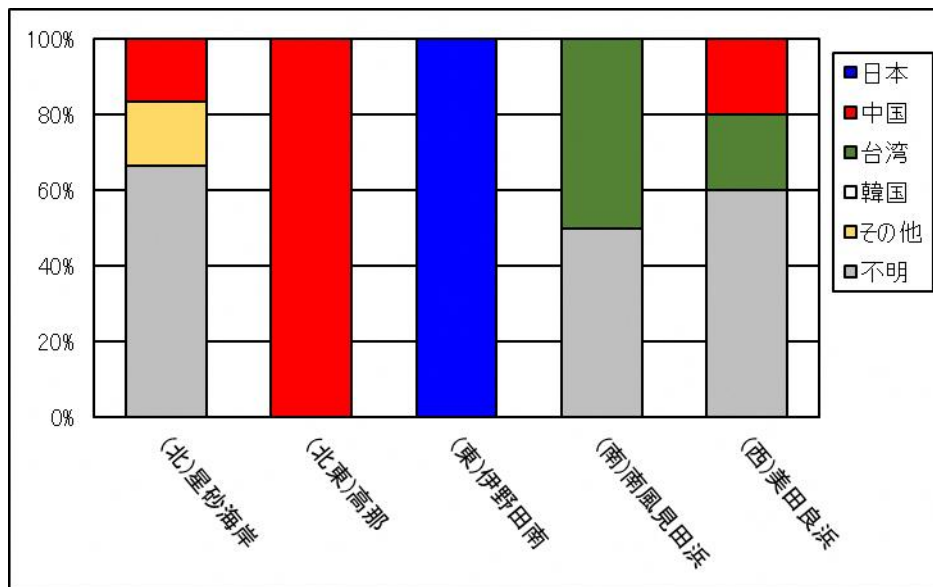
注1)「その他」には、フィリピン(1個)、ベトナム(1個)を含む。

注2) 空欄は回収がないことを示す。



注)「その他」には、フィリピン (1個)、ベトナム (1個) を含む。

図 2.9-27 ペットボトルの生産国別漂着個数調査結果
(令和2年6月～令和2年9月の60日あたり)



注)「その他」には、フィリピン (1個)、ベトナム (1個) を含む。

図 2.9-28 ペットボトルの生産国別漂着個数調査結果
(令和2年6月～令和2年9月の60日あたり)【割合】

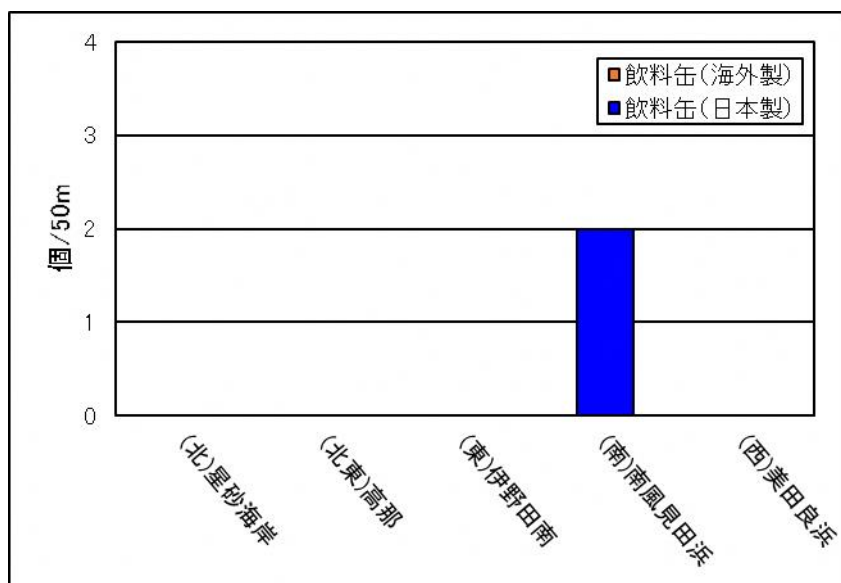


図 2.9-29 飲料缶の生産国別漂着個数調査結果
(令和2年6月～令和2年9月の60日あたり)

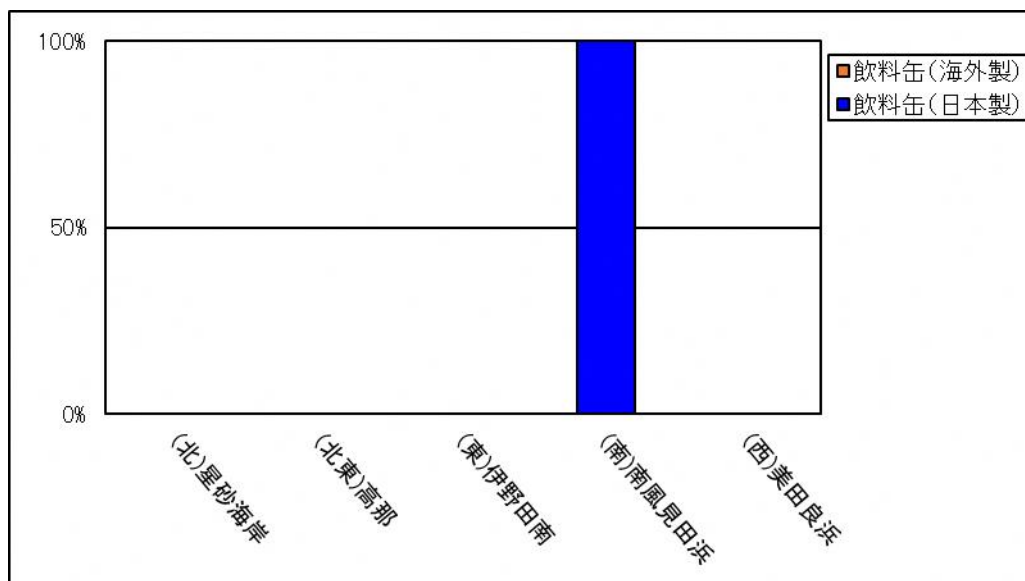
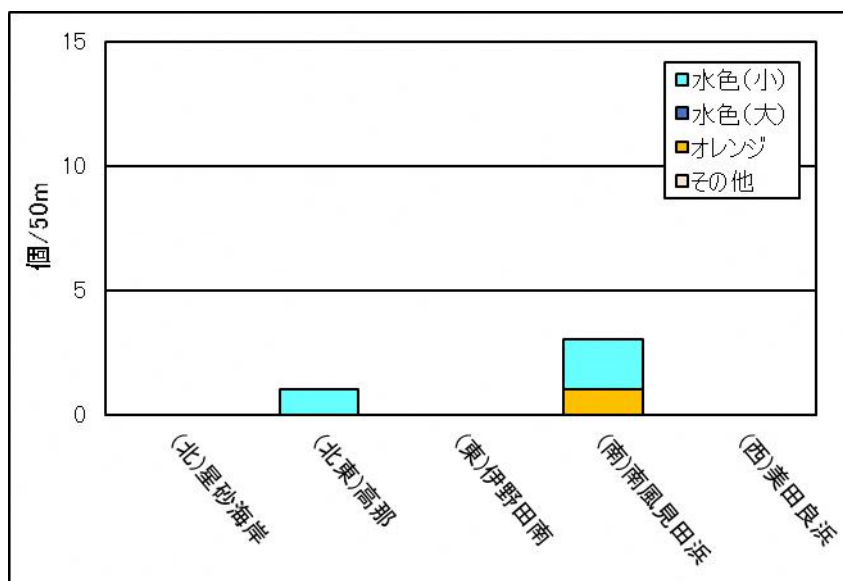
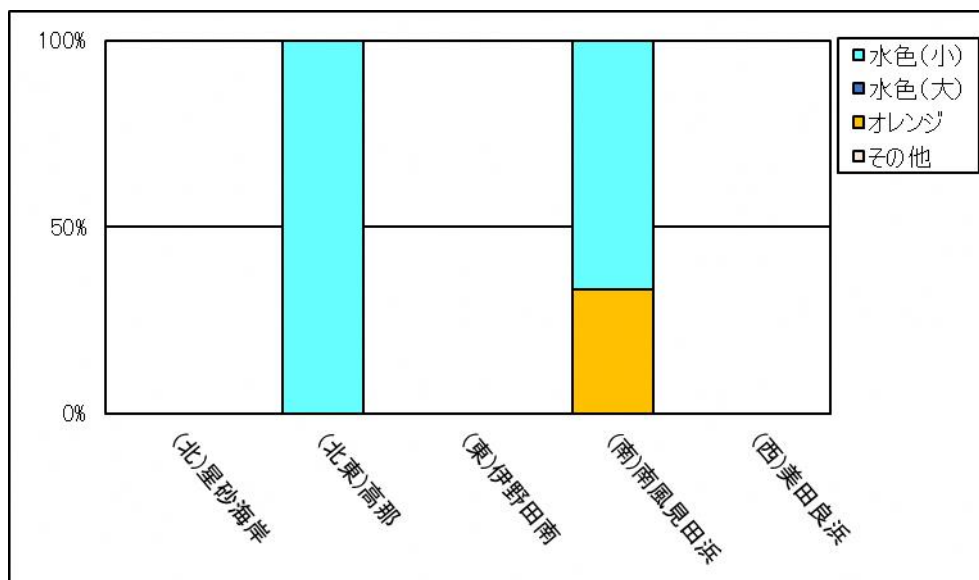


図 2.9-30 飲料缶の生産国別漂着個数調査結果
(令和2年6月～令和2年9月の60日あたり)【割合】



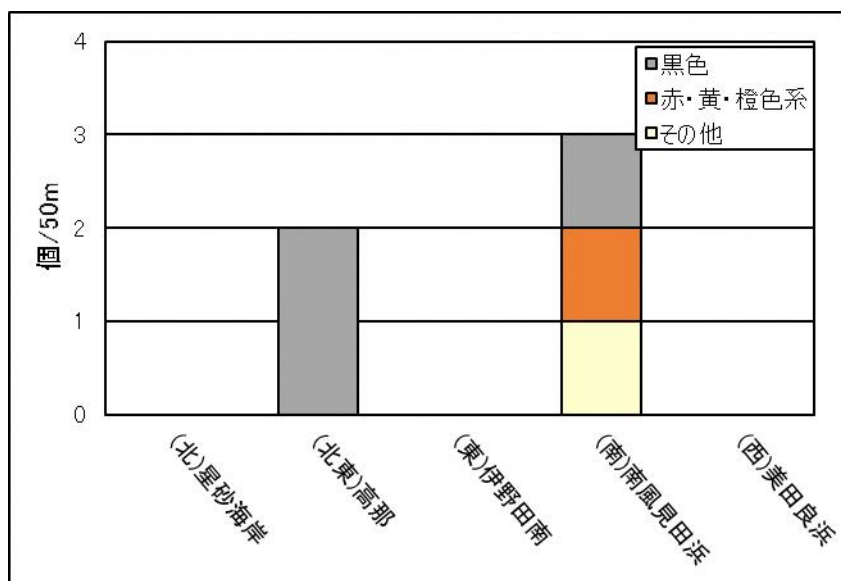
注)「その他」は、図 2.4-2 に示す分類表のうち、直径 20cm 未満の「その他」の小ブイを示す。

図 2.9-31 漁業用ブイ（直径 20cm 未満）の生産国別漂着個数調査結果
（令和 2 年 6 月～令和 2 年 9 月の 60 日あたり）



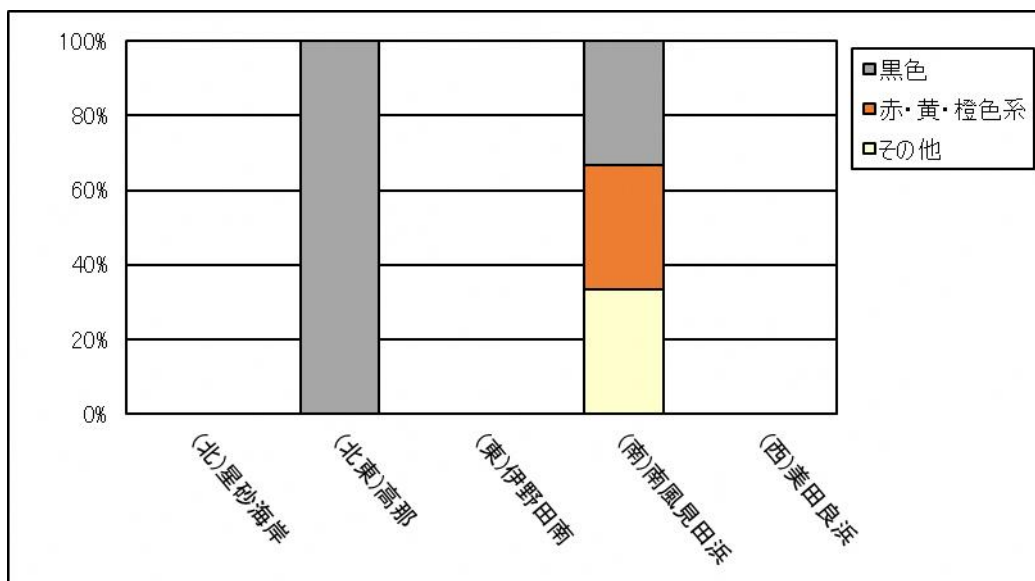
注)「その他」は、図 2.4-2 に示す分類表のうち、直径 20cm 未満の「その他」の小ブイを示す。

図 2.9-32 漁業用ブイ（直径 20cm 未満）の生産国別漂着個数調査結果
（令和 2 年 6 月～令和 2 年 9 月の 60 日あたり）【割合】



注)「その他」は、図 2.4-2 に示す分類表のうち、直径 20cm 以上の「その他」の小ブイを示す。

図 2.9-33 漁業用ブイ（直径 20cm 以上）の生産国別漂着個数調査結果
（令和 2 年 6 月～令和 2 年 9 月の 60 日あたり）



注)「その他」は、図 2.4-2 に示す分類表のうち、直径 20cm 以上の「その他」の小ブイを示す。

図 2.9-34 漁業用ブイ（直径 20cm 以上）の生産国別漂着個数調査結果
（令和 2 年 6 月～令和 2 年 9 月の 60 日あたり）【割合】

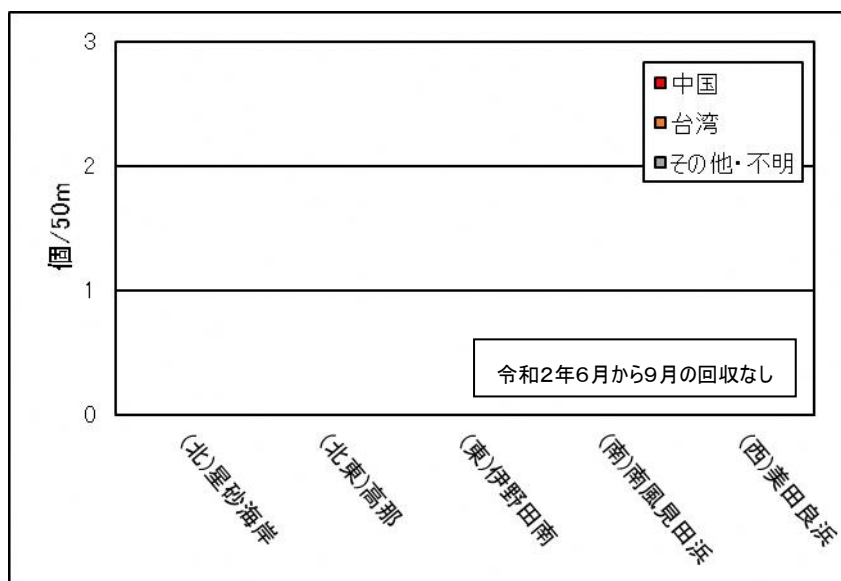


図 2.9-35 ビニール製バルーン生産国別漂着個数調査結果
(令和2年6月～令和2年9月の60日あたり)

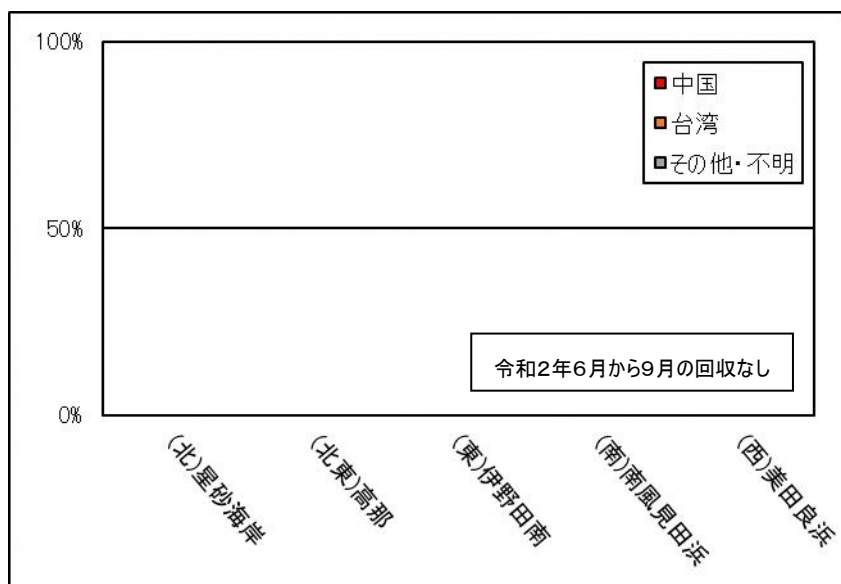


図 2.9-36 ビニール製バルーン生産国別漂着個数調査結果
(令和2年6月～令和2年9月の60日あたり)【割合】

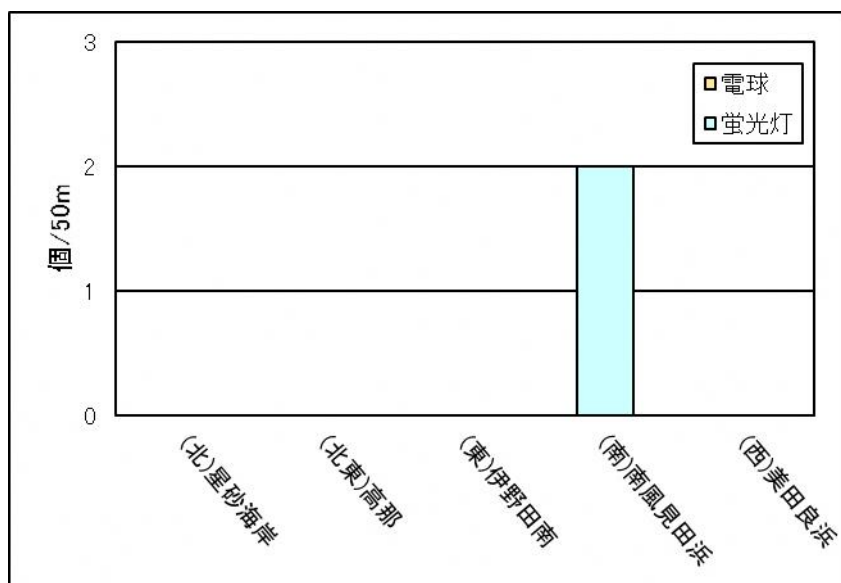


図 2.9-37 電球・蛍光灯の漂着個数調査結果
(令和2年6月～令和2年9月の60日あたり)

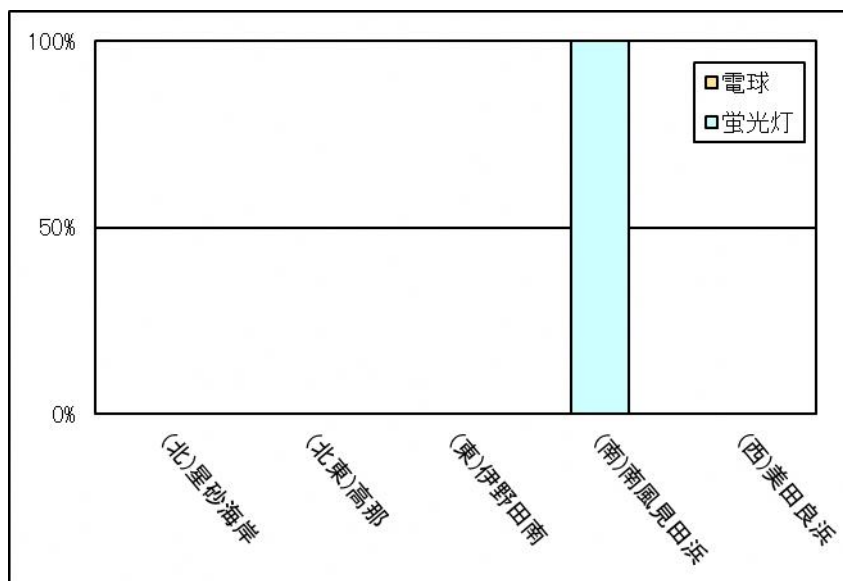


図 2.9-38 電球・蛍光灯の漂着個数調査結果
(令和2年6月～令和2年9月の60日あたり)【割合】

表 2.9-18 電球・蛍光灯のラベルによる生産国分析結果
(令和2年6月～令和2年9月の調査期間中の実測数)

単位:個

地域名	生産国				合計
	日本	中国	台湾	不明	
西表島・石垣島				2	2

・ 9月から12月の西表・石垣島における漂着量

6品目の特徴的な海岸漂着物について、分析結果の概要を表2.9-19、令和2年9月から12月の60日あたりの海岸別の漂着個数を表2.9-20～22、図2.9-39～52に示す。

ペットボトルは生産国別にみると中国製が多く、飲料缶のうち生産国が判別出来たものは日本製のみであった。ビニール製バルーンは生産国不明なもののみであり、電球・蛍光灯はみられず、傾向はみられなかった。

また、漂着個数は飲料缶を除いて高那と伊野田南海岸の北東から東向きの海岸で漂着個数が多くなる傾向が見られた。高那と伊野田南海岸ともにペットボトルと漁業用ブイが多くみられた。

表2.9-19 特徴的な海岸漂着物の分析結果概要（令和2年9月～12月の60日あたり）

特徴的な海岸漂着物	結果概要	図表番号
ペットボトル	<p>【容量等】</p> <p>ペットボトルが見られた調査対象海岸全てで容量1000cc未満のものが多くを占めた。 1000cc未満のペットボトルのラベルの有無は、ラベル無の方の割合が多く見られた。 1000cc未満のペットボトルは、500cc前後の飲料用が最も多かった。</p> <p>【生産国】</p> <p>全体で中国製の割合が最も高かった。 次点で生産国不明の割合が高かった。</p>	<p>図2.9-39</p> <p>図2.9-40</p> <p>図2.9-41、42</p>
飲料缶	<p>石垣島の伊野田南海岸で1個見つかったただけであった。 日本製であった。</p>	<p>図2.9-43</p>
ポリタンク	<p>確認されなかった。</p>	
漁業用ブイ	<p>【直径20cm未満】</p> <p>全体で16個確認された。そのうち15個が伊野田南海岸（東向き）および高那（北東向き）で見られた。 種類はオレンジ色の小型ブイが最も多く、次いで水色の小型ブイが多かった。</p> <p>【直径20cm以上】</p> <p>全体で5個確認された。伊野田南海岸で最も多く見られた。 種類は黒色のブイが最も多かった。</p>	<p>図2.9-45</p> <p>図2.9-47</p>
ビニール製バルーン	<p>伊野田南海岸でのみ2個確認された。 生産国は不明であった。</p>	<p>図2.9-49</p>
電球・蛍光灯	<p>確認されなかった。</p>	<p>図2.9-51</p>

表 2.9-20 特徴的な海岸漂着物の漂着個数（令和2年9月～12月の60日あたり）

単位：個/50m

素 材	種 類		西表・石垣島					
			北	北東	東	南	西	
			星砂海岸	高那	伊野田南	南風見 田浜	美田良浜	
プラスチック類	ペットボトル	1000cc 未満	ラベル有	5	26	22		
			ラベル無	11	33	36	1	
		1000cc 以上	ラベル有			2		
			ラベル無	2	1	6		
	漁業用ブイ	直径 20cm 未満	水色(大)					
			水色(小)		2	4		
			オレンジ		1	6		
			その他	1	3	2		
		直径 20cm 以上	黒色		1	1		
			赤・黄・橙色系					
			その他			3		1
	ライター			2		4		
	日本製の農業用の容器・袋類							
	日本製の飲食用の容器・袋類							
	ポリタンク	韓国						
		その他						
不明								
ビニール製バルーン	中国							
	台湾							
	その他・不明				2			
発泡スチロール類	日本製の飲食用の容器・袋類							
ガラス・陶磁器類	電球							
	電球(ラベル有)							
	蛍光灯							
	蛍光灯(ラベル有)							
金属類	飲料缶(日本製)				1			
	飲料缶(海外製)							
医療系廃棄物	バイアル							
	注射器・針				1			
	その他							

注)空欄は回収がないことを示す。

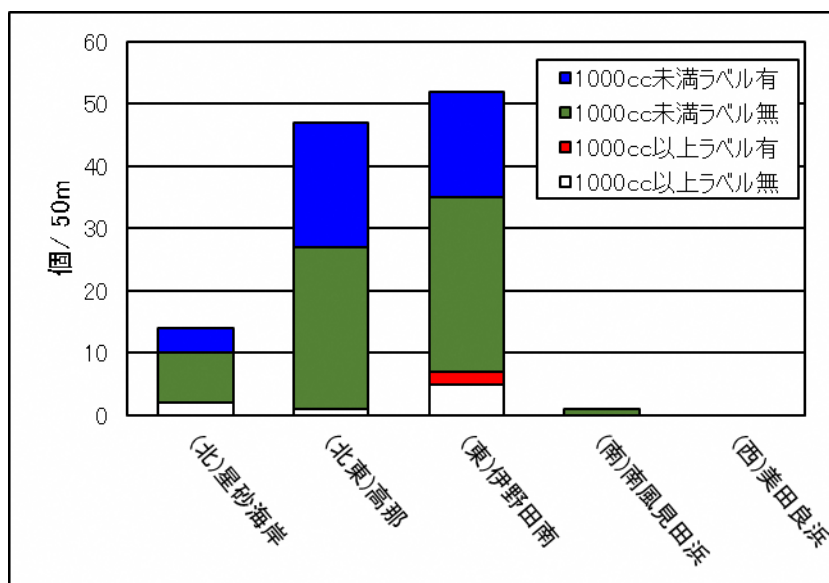


図 2.9-39 ペットボトルの容量及びラベルの有無別の漂着個数調査結果
(令和2年9月～令和2年12月の60日あたり)

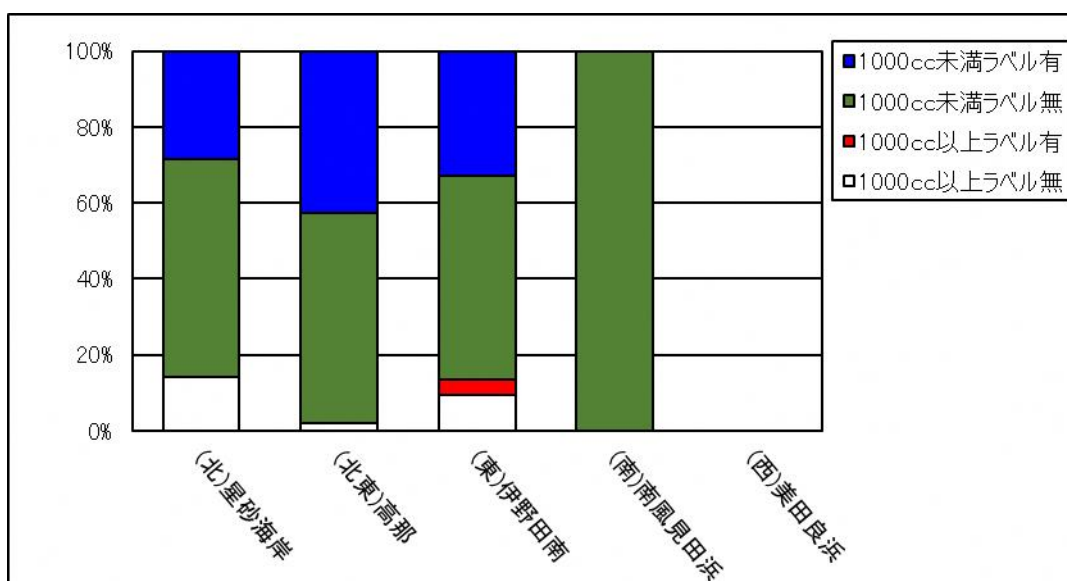


図 2.9-40 ペットボトルの容量及びラベルの有無別の漂着個数調査結果
(令和2年9月～令和2年12月の60日あたり)【割合】

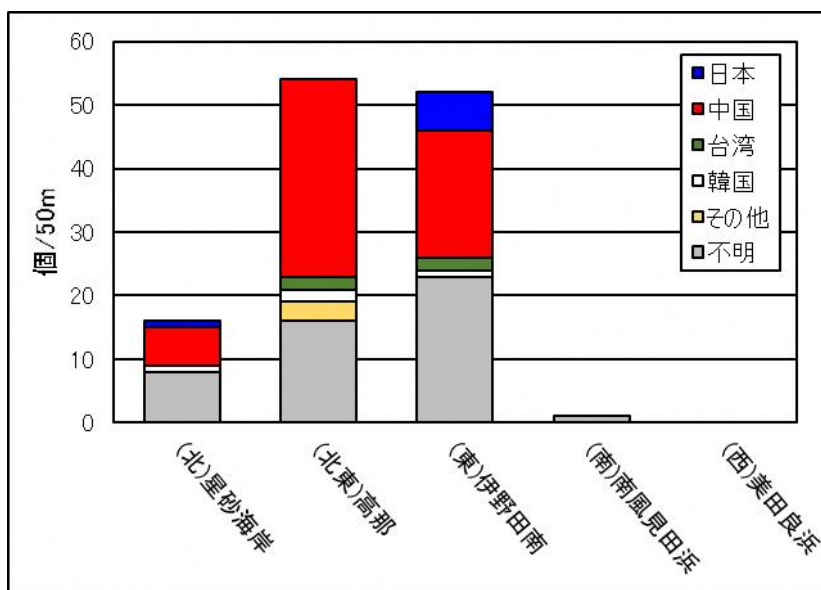
表 2.9-21 ペットボトルの生産国別の整理(令和2年9月～令和2年12月の60日あたり)

単位:個/50m

種類	生産国	西表島・石垣島				
		北	北東	東	南	西
		星砂海岸	高那	伊野田	南風見田浜	美田良浜
国名	日本	1		6		
	中国	6	31	20		
	台湾		2	2		
	韓国	1	2	1		
	その他		3			
	不明	8	16	23	1	
合計		16	54	52	1	0

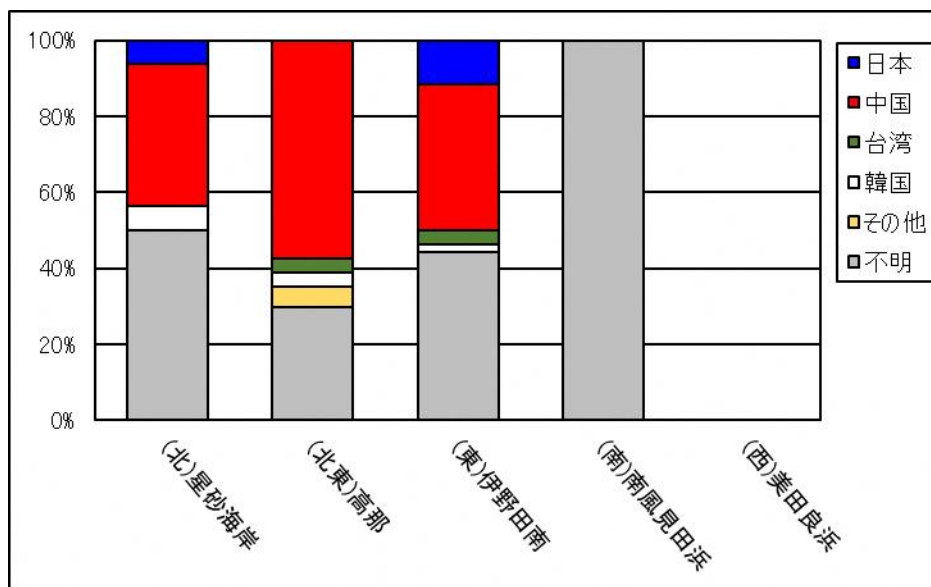
注1)「その他」には、フィリピン(1個)、マレーシア(1個)、インド(1個)を含む。

注2) 空欄は回収がないことを示す。



注)「その他」には、フィリピン (1個)、ベトナム (1個)、インド (1個) を含む。

図 2.9-41 ペットボトルの生産国別漂着個数調査結果
(令和2年9月～令和2年12月の60日あたり)



注)「その他」には、フィリピン (1個)、ベトナム (1個) を含む。

図 2.9-42 ペットボトルの生産国別漂着個数調査結果
(令和2年6月～令和2年9月の60日あたり)【割合】

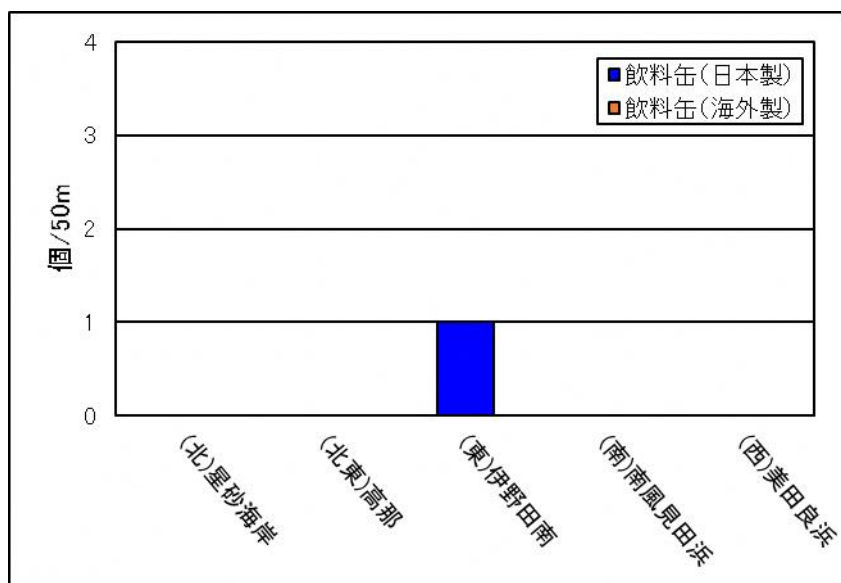


図 2.9-43 飲料缶の生産国別漂着個数調査結果
(令和2年9月～令和2年12月の60日あたり)

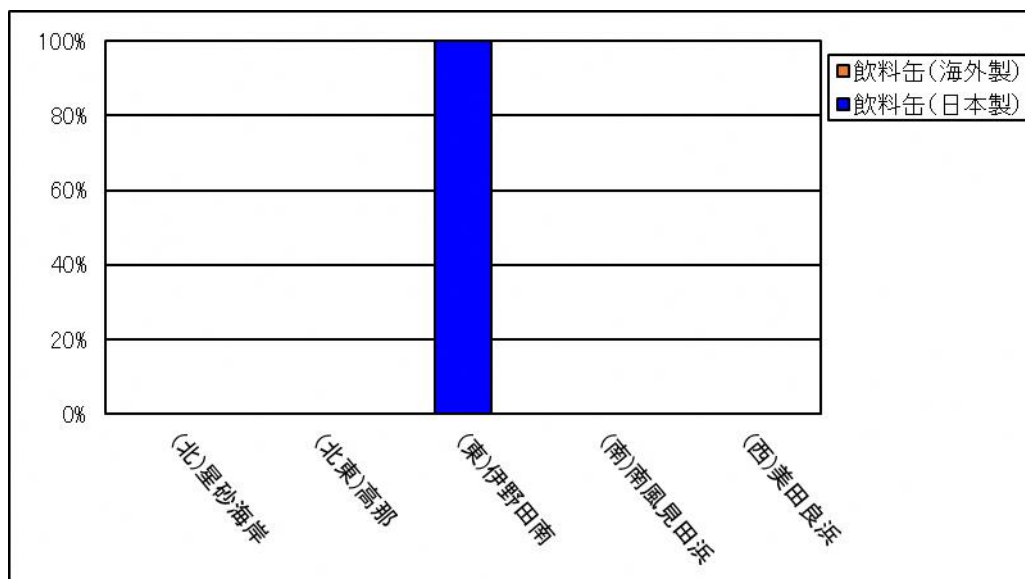
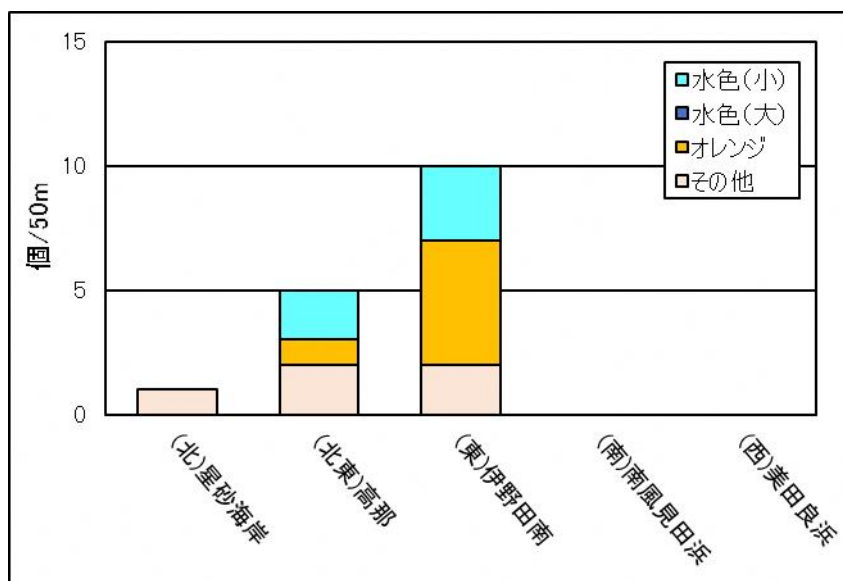
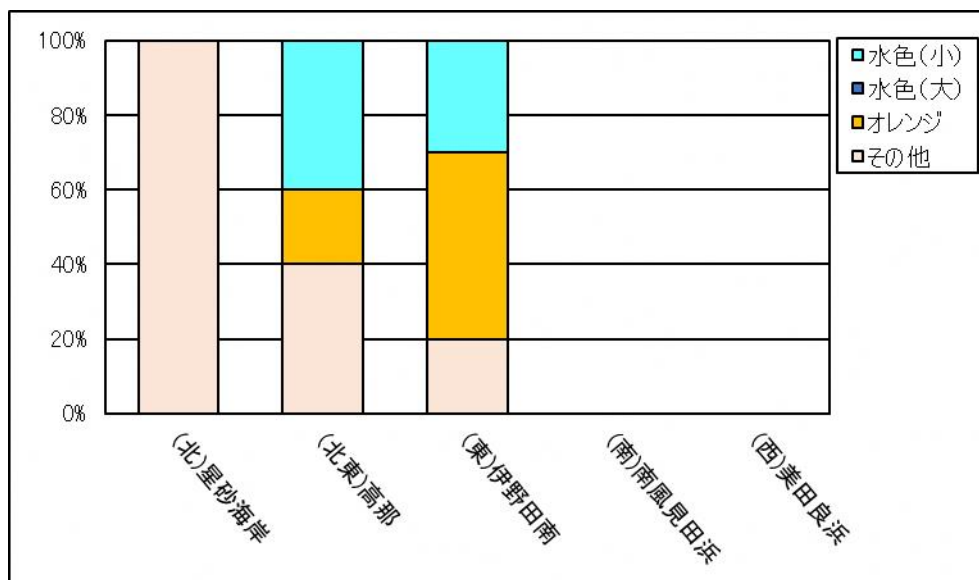


図 2.9-44 飲料缶の生産国別漂着個数調査結果
(令和2年9月～令和2年12月の60日あたり)【割合】



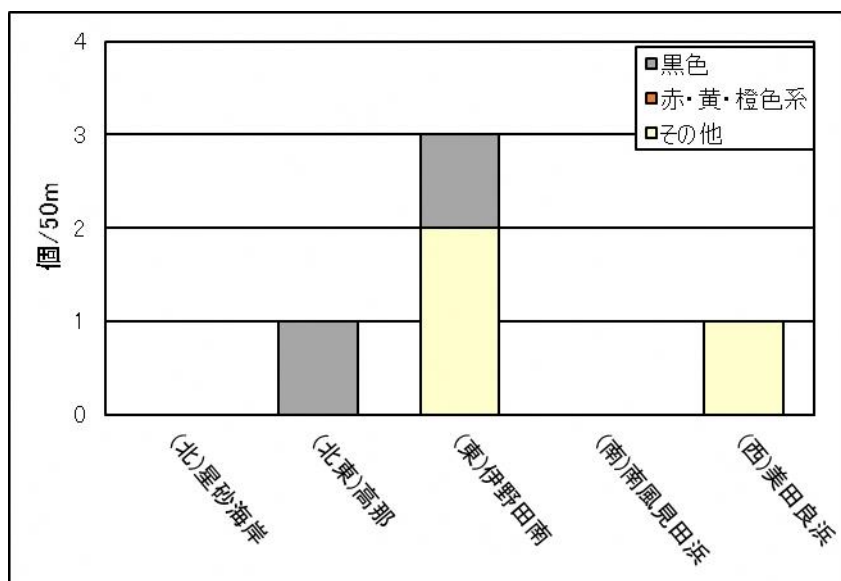
注)「その他」は、図 2.4-2 に示す分類表のうち、直径 20cm 未満の「その他」の小ブイを示す。

図 2.9-45 漁業用ブイ（直径 20cm 未満）の生産国別漂着個数調査結果
（令和 2 年 9 月～令和 2 年 12 月の 60 日あたり）



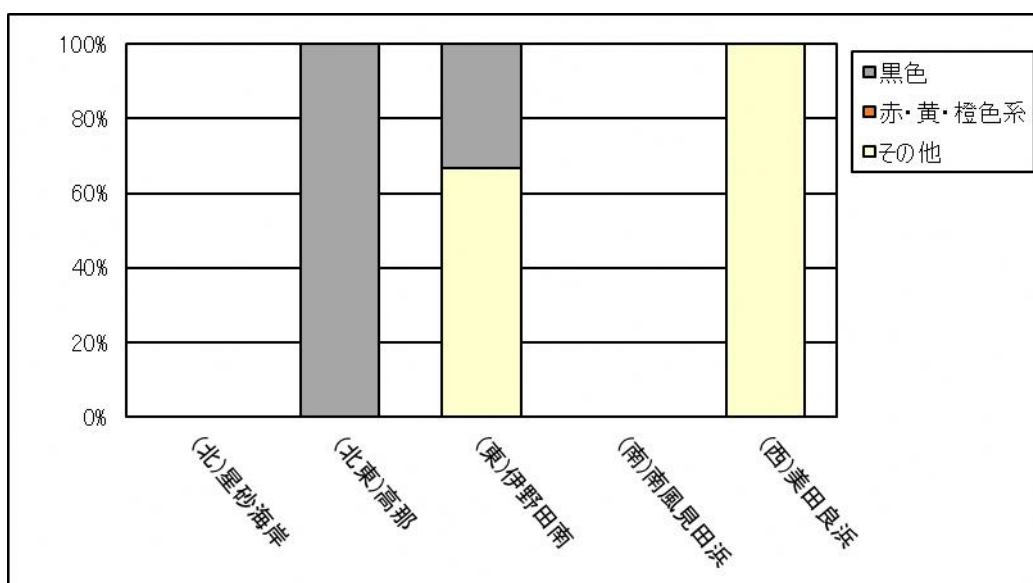
注)「その他」は、図 2.4-2 に示す分類表のうち、直径 20cm 未満の「その他」の小ブイを示す。

図 2.9-46 漁業用ブイ（直径 20cm 未満）の生産国別漂着個数調査結果
（令和 2 年 9 月～令和 2 年 12 月の 60 日あたり）【割合】



注)「その他」は、図 2.4-2 に示す分類表のうち、直径 20cm 以上の「その他」の小ブイを示す。

図 2.9-47 漁業用ブイ（直径 20cm 以上）の生産国別漂着個数調査結果
（令和 2 年 9 月～令和 2 年 12 月の 60 日あたり）



注)「その他」は、図 2.4-2 に示す分類表のうち、直径 20cm 以上の「その他」の小ブイを示す。

図 2.9-48 漁業用ブイ（直径 20cm 以上）の生産国別漂着個数調査結果
（令和 2 年 9 月～令和 2 年 12 月の 60 日あたり）【割合】

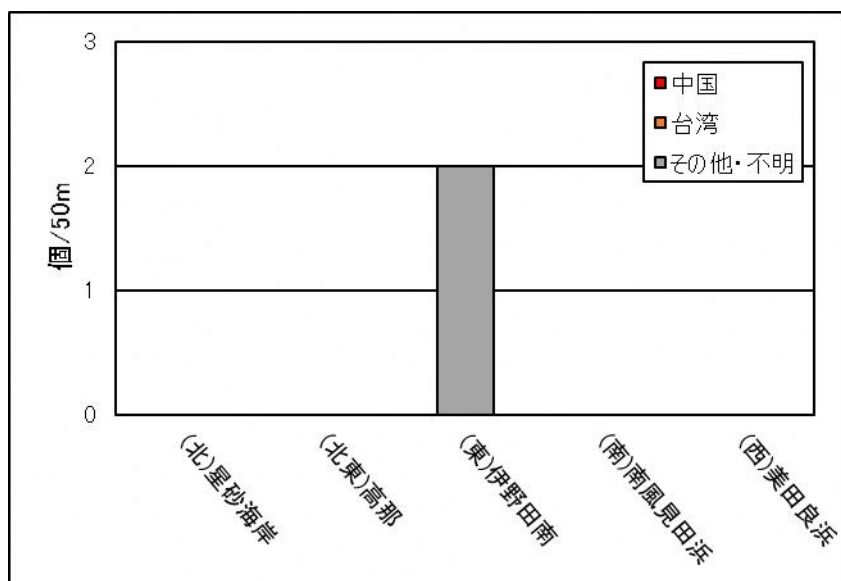


図 2.9-49 ビニール製バルーンが生産国別漂着個数調査結果
(令和2年9月～令和2年12月の60日あたり)

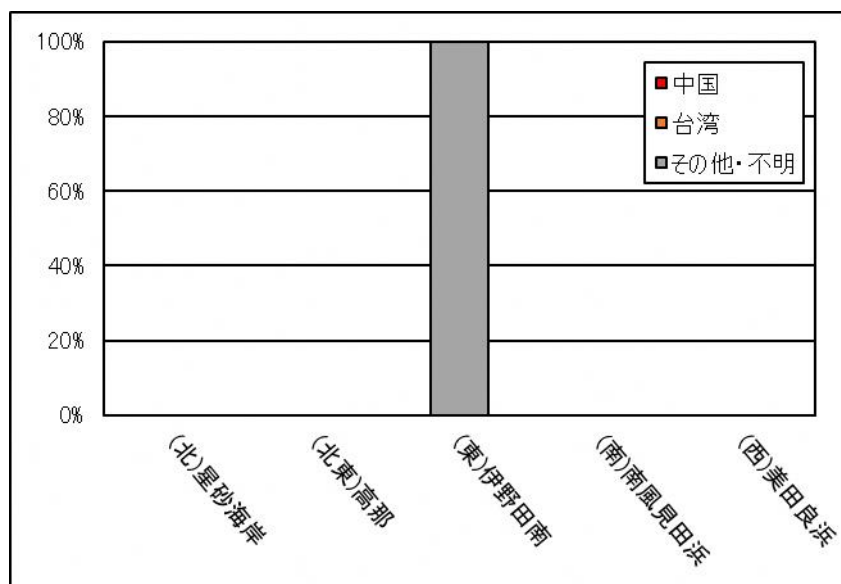


図 2.9-50 ビニール製バルーンが生産国別漂着個数調査結果
(令和2年9月～令和2年12月の60日あたり)【割合】

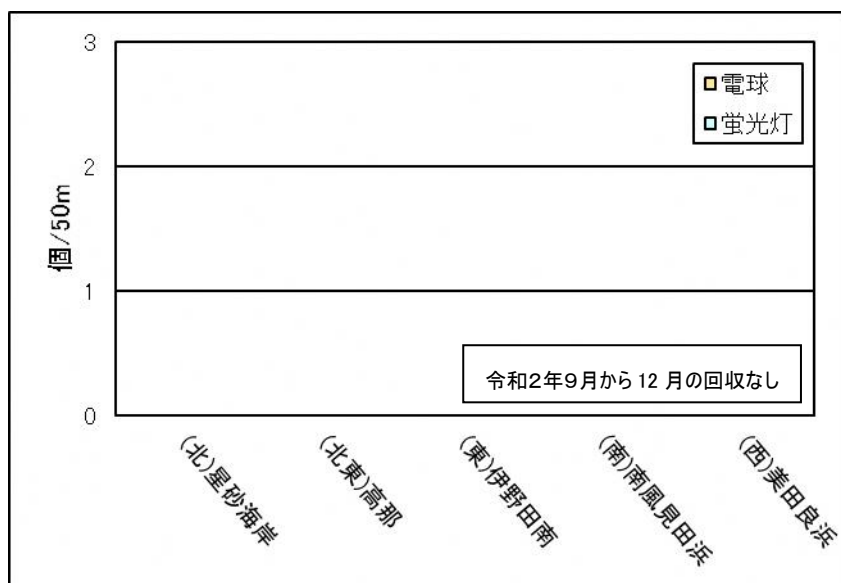


図 2.9-51 電球・蛍光灯の漂着個数調査結果
(令和2年9月～令和2年12月の60日あたり)

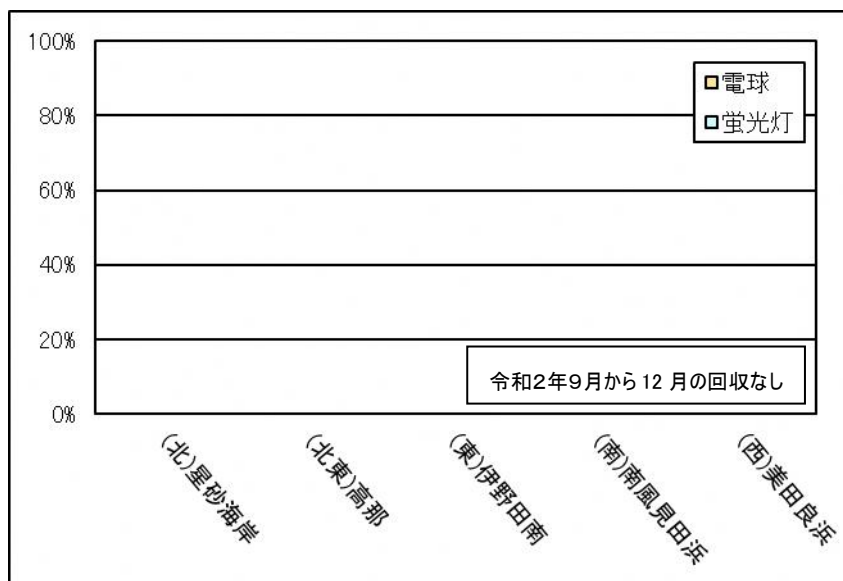


図 2.9-52 電球・蛍光灯の漂着個数調査結果
(令和2年9月～令和2年12月の60日あたり)【割合】

表 2.9-22 電球・蛍光灯のラベルによる生産国分析結果
(令和2年9月～令和2年12月の調査期間中の実測数)

単位:個

地域名	生産国				合計
	日本	中国	台湾	不明	
西表島・石垣島					0

・ 11 月から 2 月の沖縄本島における漂着量

6 品目の特徴的な海岸漂着物について、分析結果の概要を表 2.9-23、令和 2 年 6 月から 9 月の 60 日あたりの海岸別の漂着個数を表 2.9-24 から表 2.9-26、図 2.9-53 から図 2.9-66 に示す。

ペットボトルは生産国別にみると中国製が多く、飲料缶のうち生産国が判別出来たものは日本製のみであった。ビニール製バルーンと電球・蛍光灯はみられなかった。

また、漂着個数は飲料缶を除いて辺士名東と伊江の北部地域の海岸で漂着個数が多くなる傾向が見られた。辺士名東と伊江ともにペットボトルが多くみられた。

表 2.9-23 特徴的な海岸漂着物の分析結果概要（令和2年9月～12月の60日あたり）

特徴的な 海岸漂着物	結果概要	図表番号
ペットボトル	<p>【容量等】</p> <p>ペットボトルが見られた調査対象海岸全てで容量1000cc未満のものが多くを占めた。 1000cc未満のペットボトルのラベルの有無は、ラベル無の方の割合が多く見られた。 1000cc未満のペットボトルは、500cc前後の飲料用が最も多かった。</p> <p>【生産国】</p> <p>全体で中国製の割合が最も高かった。 次点で生産国不明の割合が高かった。</p>	<p>図2.9-53</p> <p>図2.9-54</p> <p>図2.9-55、56</p>
飲料缶	<p>確認個数の最大は3個であり、いずれの地点でも日本製であった。 しかし、グラフ外にて国籍不明の飲料缶が多く見つかった。</p>	<p>図2.9-57</p>
ポリタンク	<p>確認されなかった。</p>	
漁業用ブイ	<p>【直径20cm未満】</p> <p>全体で19個確認された。そのうち9個が伊江（太平洋側北部）で見られた。 種類はオレンジ色の小型ブイが最も多かった。</p> <p>【直径20cm以上】</p> <p>辺士名東（東シナ海側北部）のみで見られ、2個であった。赤・黄・橙色系が1つ、その他の色のブイが1つであった。</p>	<p>図2.9-59</p> <p>図2.9-61</p>
ビニール製 バルーン	<p>確認されなかった。</p>	<p>図2.9-63</p>
電球・蛍光灯	<p>確認されなかった。</p>	<p>図2.9-65</p>

表 2.9-24 特徴的な海岸漂着物の漂着個数
(令和2年11月～令和3年2月の60日あたり)

単位:個/50m

素 材	種 類		沖縄本島						
			東シナ海			太平洋			
			辺士名東 (北部)	美留 (中部)	喜屋武漁港南 (南部)	伊江 (北部)	桃原漁港北 (中部)	知念南 (南部)	
プラスチック類	ペットボトル	1000cc 未満	ラベル有	2			1	1	
			ラベル無	12		1	7	2	
		1000cc 以上	ラベル有	1					
			ラベル無	1			2		
	漁業用ブイ	直径 20cm 未満	水色(大)	1					
			水色(小)	2			2	1	
			オレンジ	3			4	3	
			その他				3		
		直径 20cm 以上	黒色						
			赤・黄・橙色系 その他	1 1					
	ライター		2				1		
	日本製の農業用の容器・袋類								
	日本製の飲食用の容器・袋類			1			1	1	
	ポリタンク	韓国							
		その他							
不明									
ビニール製バルーン	中国								
	台湾								
	その他・不明								
発泡スチロール類	日本製の飲食用の容器・袋類								
ガラス・陶磁器類	電球								
	電球(ラベル有)								
	蛍光灯								
	蛍光灯(ラベル有)								
金属類	飲料缶(日本製)		3			2	2		
	飲料缶(海外製)								
医療系廃棄物	バイアル								
	注射器・針								
	その他								

注)空欄は回収がないことを示す。

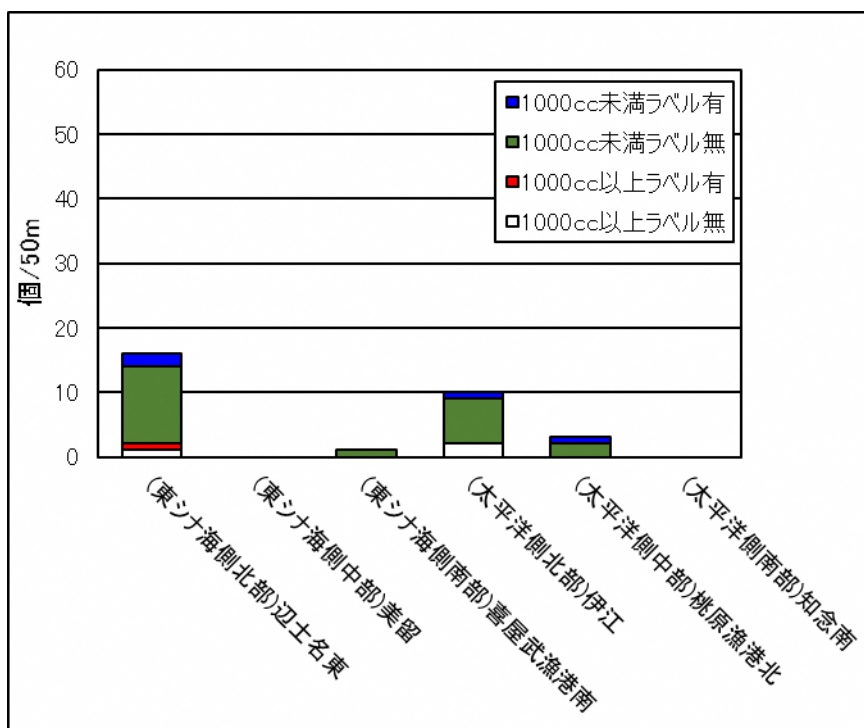


図 2.9-53 ペットボトルの容量及びラベルの有無別の漂着個数調査結果
(令和2年11月～令和3年2月の60日あたり)

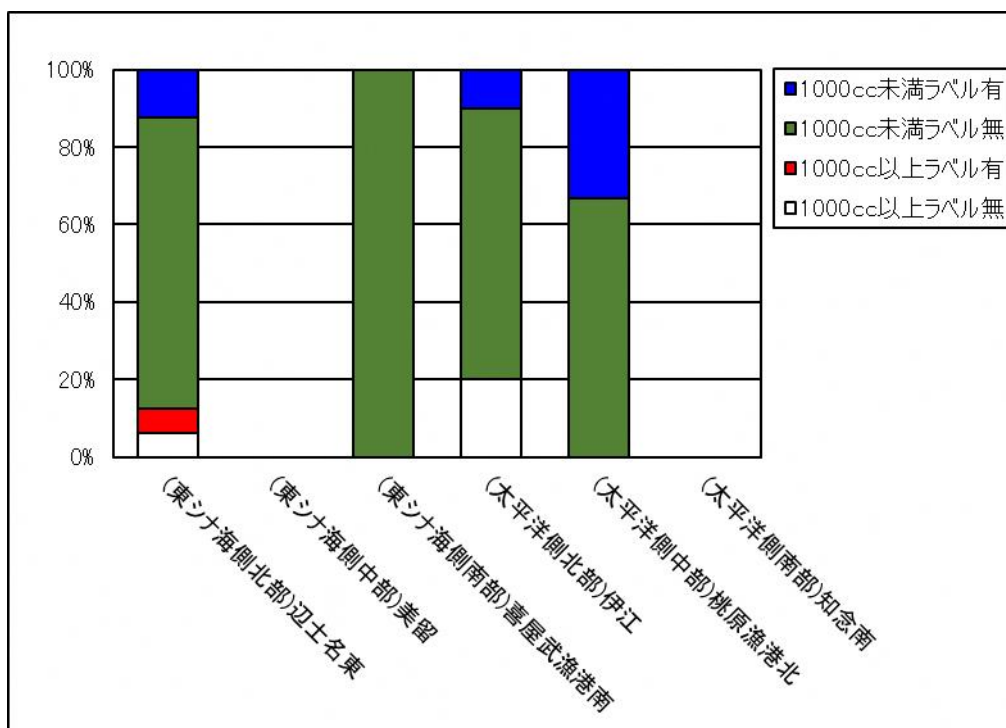


図 2.9-54 ペットボトルの容量及びラベルの有無別の漂着個数調査結果
(令和2年11月～令和3年2月の60日あたり)【割合】

表 2.9-25 ペットボトルの生産国別の整理
 (令和2年11月～令和3年2月の60日あたり)

単位:個/50m

種類	生産国	沖縄本島					
		東シナ海 北部	東シナ海 中部	東シナ海 南部	太平洋 北部	太平洋 中部	太平洋 南部
		辺士名東	美留	喜屋武漁港南	伊江	桃原漁港北	知念南
国名	日本	1		1	3	2	
	中国	11			4	1	
	台湾						
	韓国	1				1	
	その他						
	不明	7			2		
	合計	20	0	1	9	4	0

注1) 空欄は回収がないことを示す。

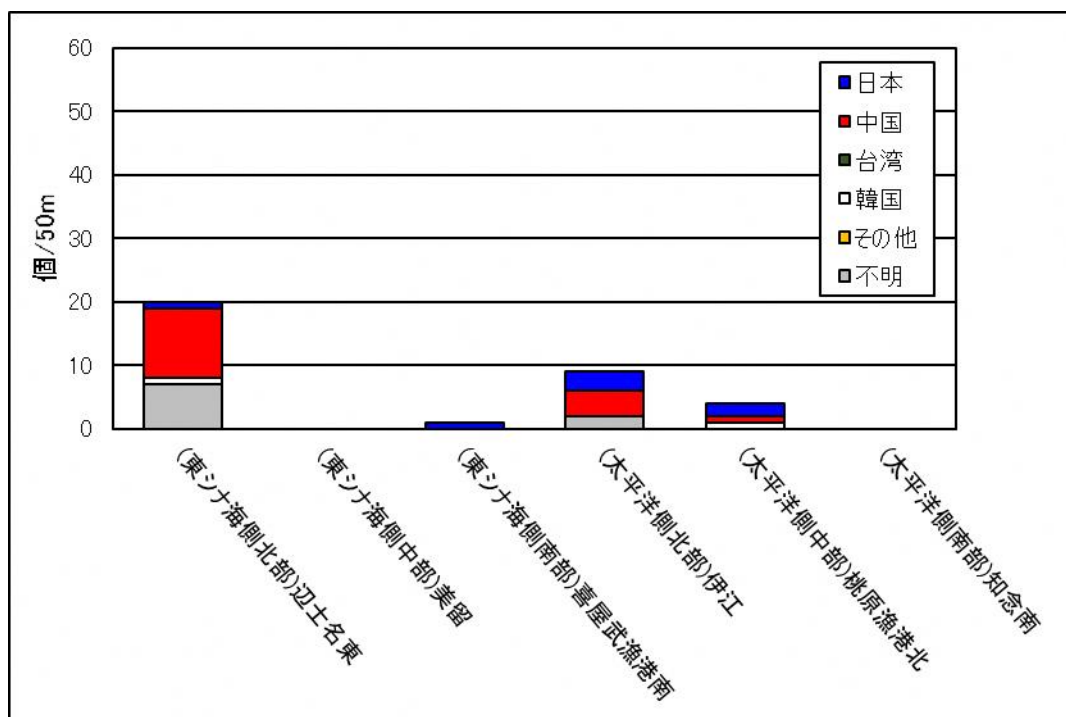


図 2.9-55 ペットボトルの生産国別漂着個数調査結果
(令和2年11月～令和3年2月の60日あたり)

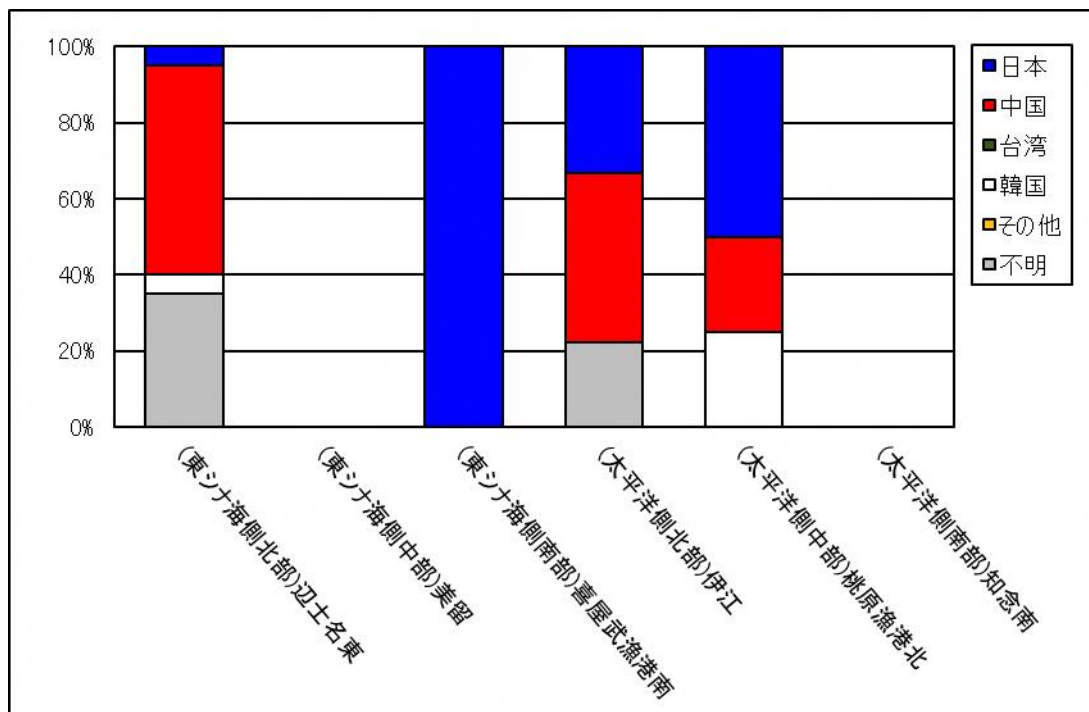


図 2.9-56 ペットボトルの生産国別漂着個数調査結果
(令和2年11月～令和3年2月の60日あたり) 【割合】

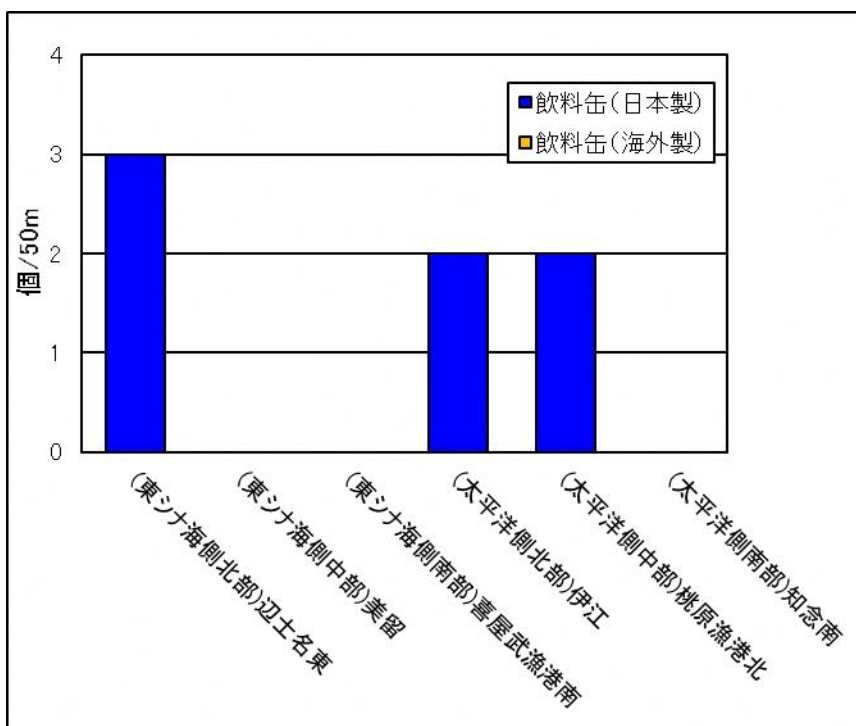


図 2.9-57 飲料缶の生産国別漂着個数調査結果
(令和2年11月～令和3年2月の60日あたり)

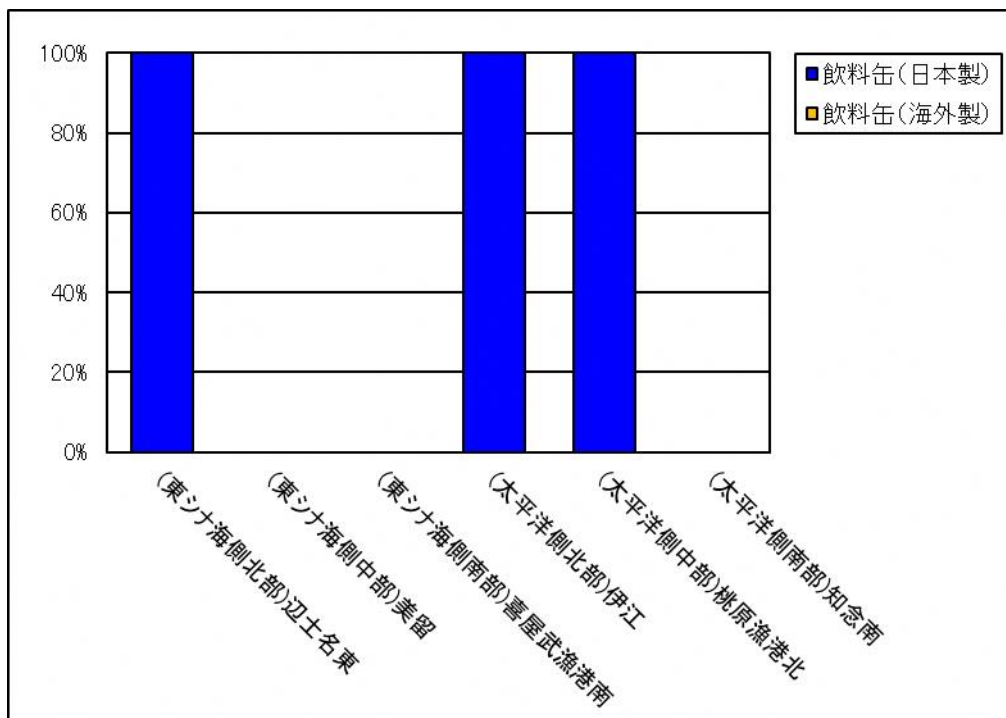
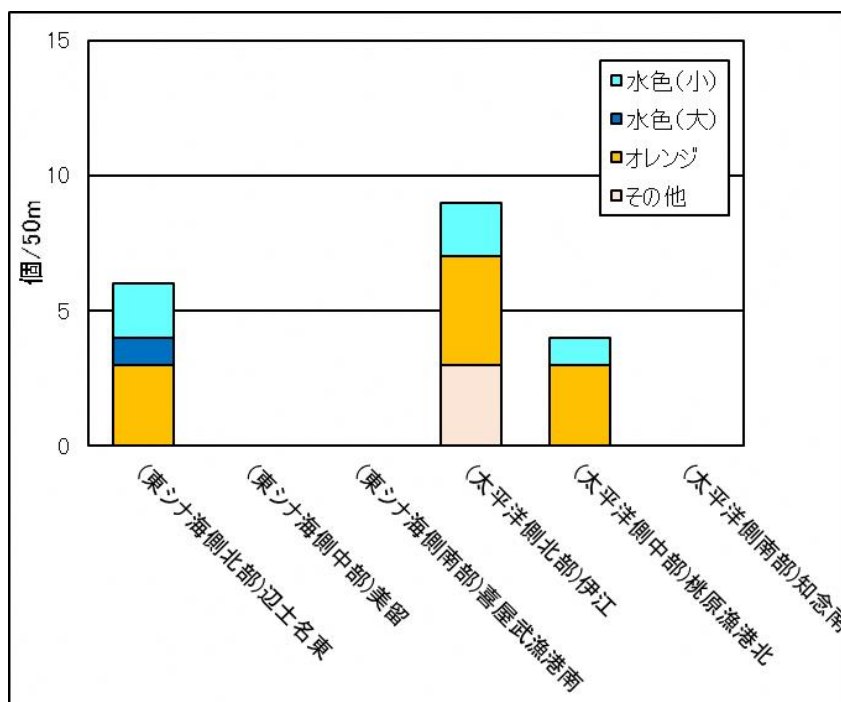
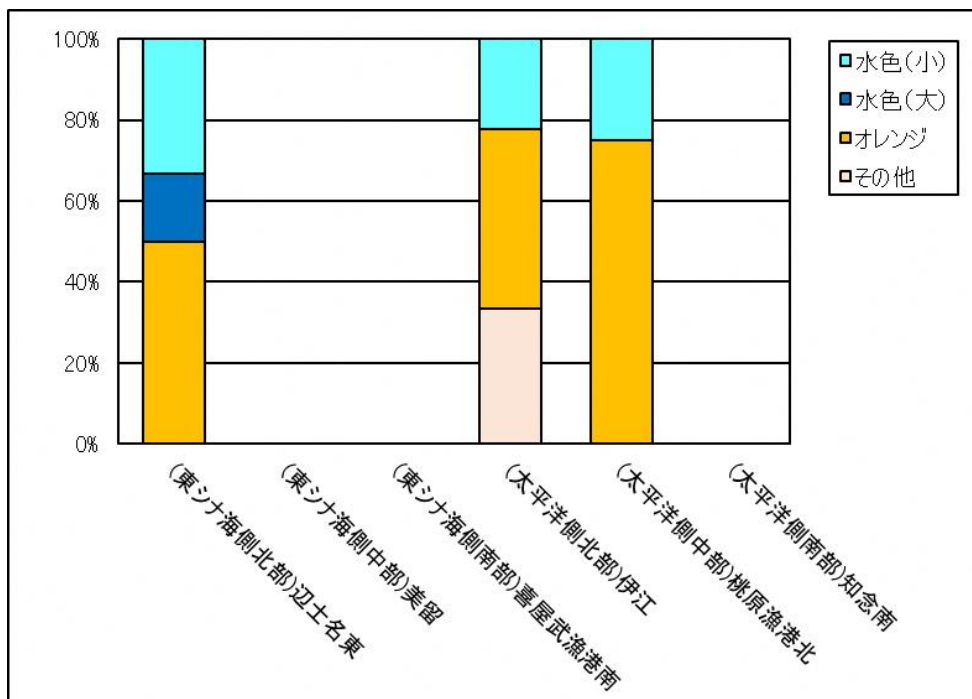


図 2.9-58 飲料缶の生産国別漂着個数調査結果
(令和2年11月～令和3年2月の60日あたり)【割合】



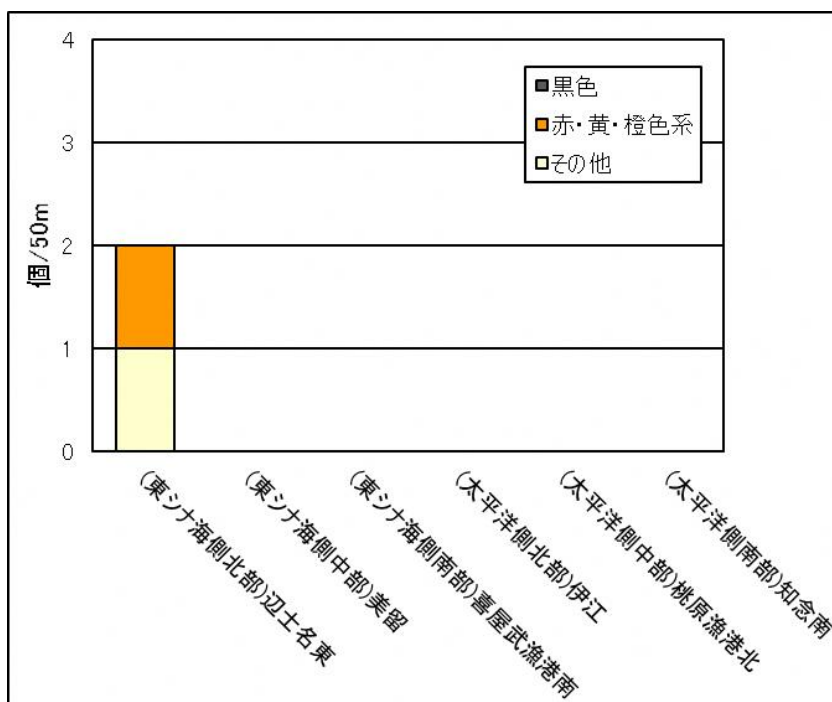
注) 「その他」は、図 2.4-2 に示す分類表のうち、直径 20cm 未満の「その他」の小ブイを示す。

図 2.9-59 漁業用ブイ（直径 20cm 未満）の漂着個数調査結果
（令和 2 年 11 月～令和 3 年 2 月の 60 日あたり）



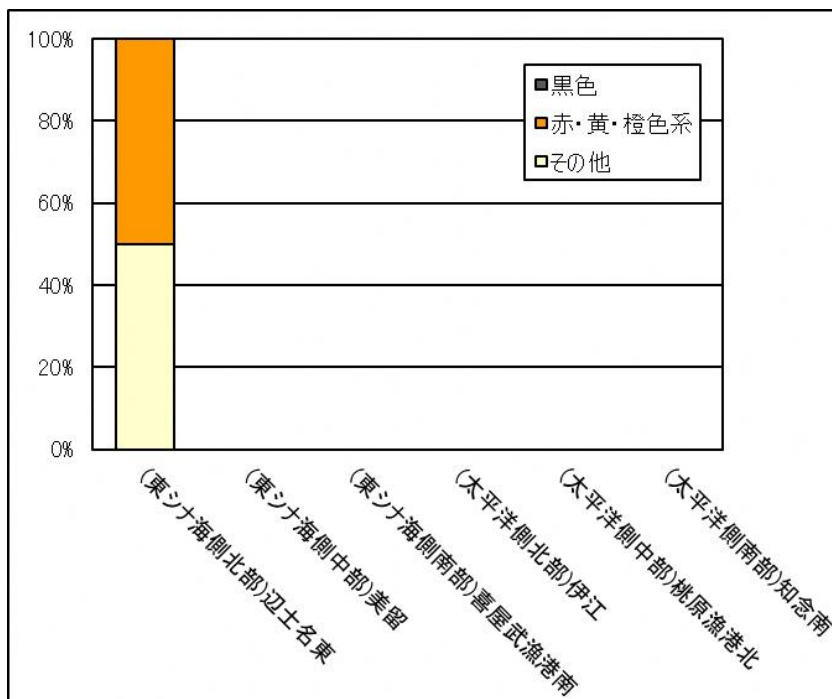
注) 「その他」は、図 2.4-2 に示す分類表のうち、直径 20cm 未満の「その他」の小ブイを示す。

図 2.9-60 漁業用ブイ（直径 20cm 未満）の漂着個数調査結果
（令和 2 年 11 月～令和 3 年 2 月の 60 日あたり）【割合】



注) 「その他」は、図 2.4-2 に示す分類表のうち、直径 20cm 未満の「その他」の小ブイを示す。

図 2.9-61 漁業用ブイ（直径 20cm 以上）の漂着個数調査結果
（令和 2 年 11 月～令和 3 年 2 月の 60 日あたり）



注) 「その他」は、図 2.4-2 に示す分類表のうち、直径 20cm 未満の「その他」の小ブイを示す。

図 2.9-62 漁業用ブイ（直径 20cm 以上）の漂着個数調査結果
（令和 2 年 11 月～令和 3 年 2 月の 60 日あたり）【割合】

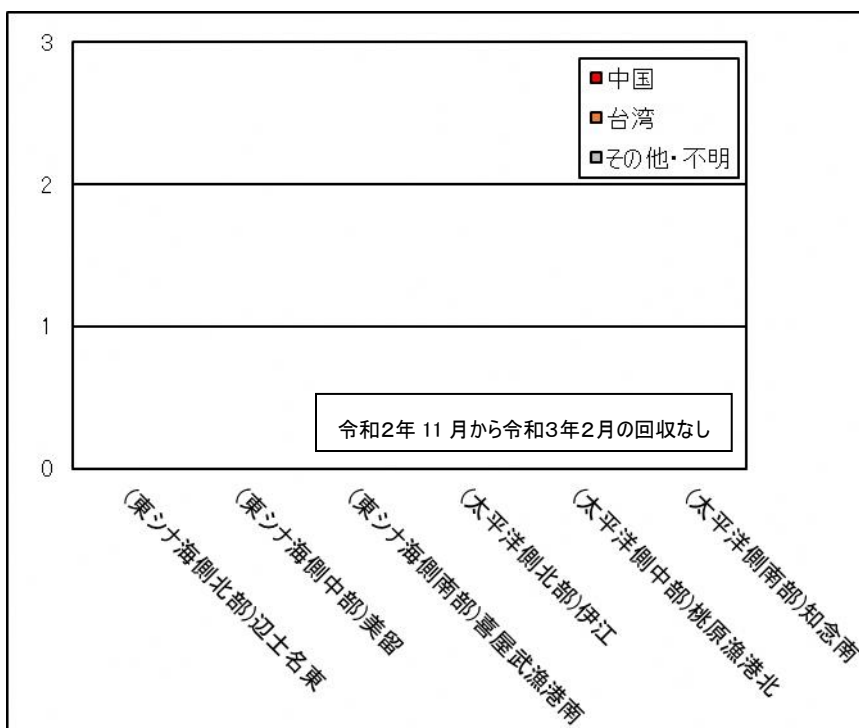


図 2.9-63 ビニール製バルーン生産国別漂着個数調査結果
(令和2年11月～令和3年2月の60日あたり)

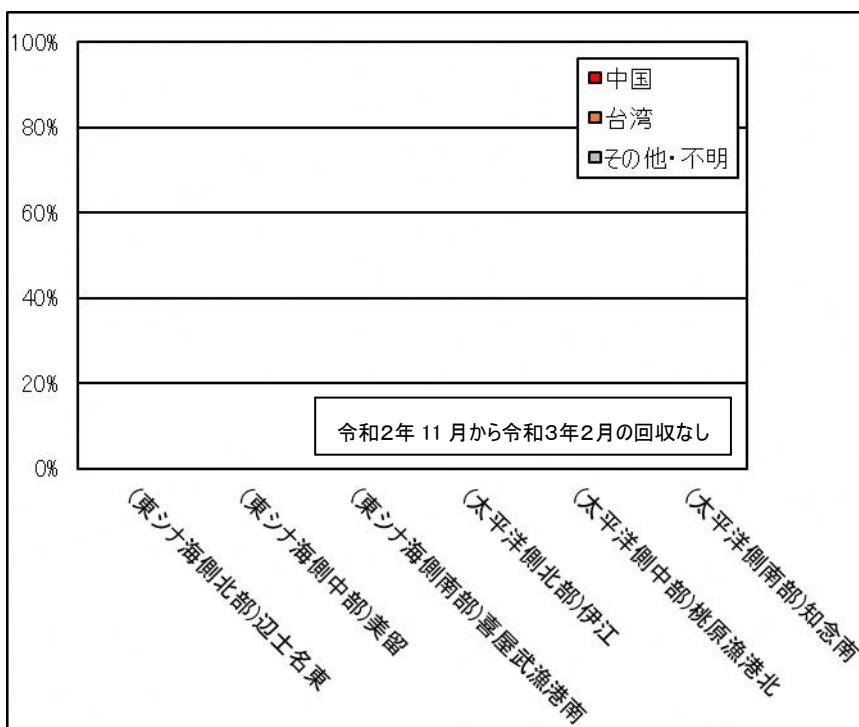


図 2.9-64 ビニール製バルーン生産国別漂着個数調査結果
(令和2年11月～令和3年2月の60日あたり)【割合】

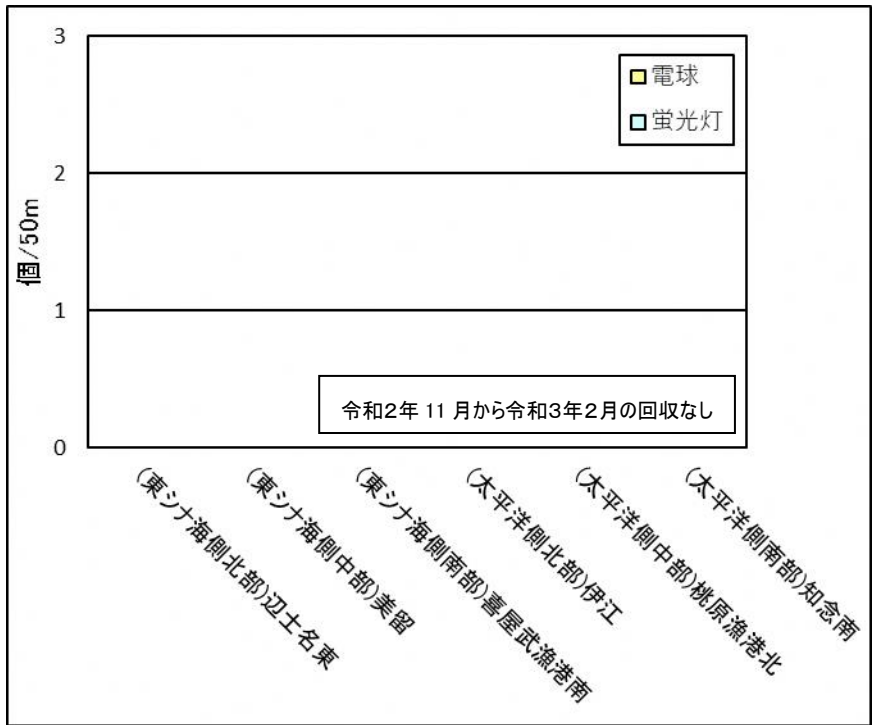


図 2.9-65 電球・蛍光灯の漂着個数調査結果
(令和2年11月～令和3年2月の60日あたり)

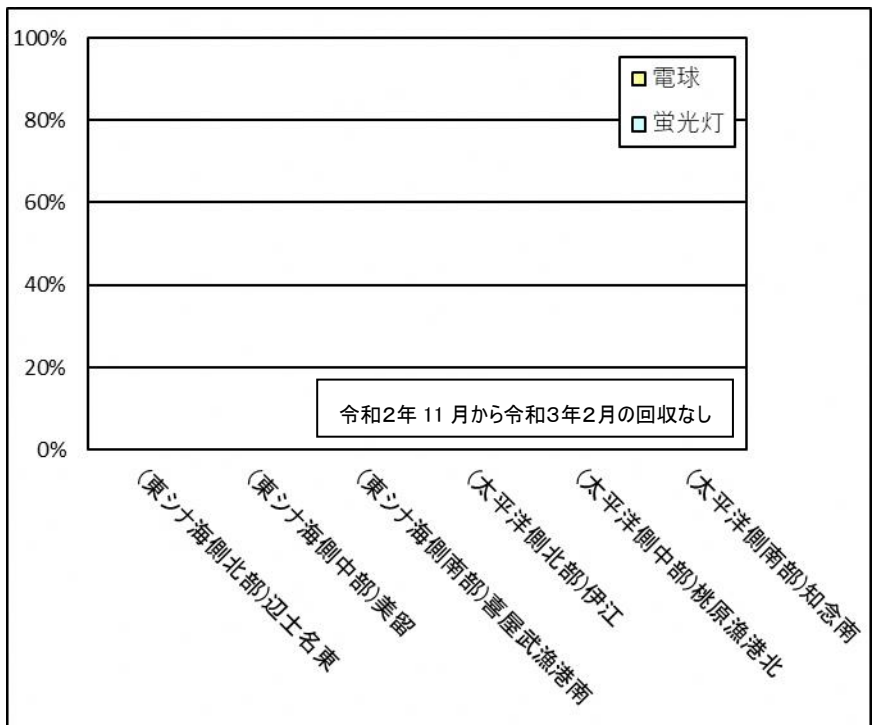


図 2.9-66 電球・蛍光灯の漂着個数調査結果
(令和2年11月～令和3年2月の60日あたり)【割合】

表 2.9-26 電球・蛍光灯のラベルによる生産国分析結果
 (令和2年11月から令和3年2月の調査期間中の実測数)

単位:個

地域名	生産国				合計
	日本	中国	台湾	不明	
沖縄本島					0